TH114 取扱説明書

TH114-z-2608-2

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
●本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 （改良のため予告なく変更する場合があります。）

■使用温度範囲：0～+40℃ ※結露なきこと
（外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲）
■使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池（LR6 1.5V）4個
■電池寿命：約12ヵ月（単3形アルカリ乾電池4個を使用し、1日に警報ブザーと警報ランプをそれぞれ90秒使用した場合）
■温度計：表示範囲：−9.9～+50.0℃
※−9.9℃より低いと LL.L
+50.0℃より高いと HH.H を表示
精度：±1℃（10.0～+40.0℃の範囲）
±2℃（上記以外の範囲）
■湿度計：表示範囲：20～95%RH（%RH は相対湿度の単位です）
※20%RH より低いと LL
95%RH より高いと HH を表示
精度：±5%RH（常温時 40～80%RH の範囲）
±8%RH（上記以外の範囲）
■測定間隔：約30秒
■熱中症指標表示：注意 / 警戒 / 厳重警戒 / 危険
■警報ブザー：電子音（警戒 / 厳重警戒 / 危険のとき）
■警報ランプ：赤LED（警戒 / 厳重警戒 / 危険のとき）
■電池交換お知らせ表示
■置掛兼用：スタンド付

※直射日光や強い光が長時間本体に当たると、部材の変形、変色、劣化の原因になります。

設置場所について

●室内の温度・湿度を正確に計るために、直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具、加湿・除湿器具などの近くを避けて、空気がよく循環する場所を選び設置して下さい。
※屋外では使用しないで下さい。

液晶表示について

●液晶表示は角度により見えにくくなります。
●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
●0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなることがあります。
●液晶表示は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなることがあります。
●液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

温度湿度表示機能について

●本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
●他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
●使用温度範囲を超えた場合、故障の原因になりますので、ご注意下さい。

温度(℃)・湿度(%RH)について

●湿度とは、空気の乾燥の度合いです。空気中には常に水蒸気が含まれており、一般に天気が悪くなると空気は湿っぽく、晴天が続くと乾燥します。この湿り気を湿度と言い、通常は空気中の水蒸気と飽和水蒸気量との比を百分率で表す相対湿度(%RH)を意味します。
●湿度は空気が「かたまり」で移動するため、同じ室内でも風通しの良いところと、部屋の隅の空気が淀んだところとでは差が生じます。
※本製品の温度・湿度計は、設置された場所の温度・湿度を測定しています。テレビなどで発表される天気予報などの温度・湿度の数値とは異なります。

電池の交換について

●電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなることがあります。
●電池容量が少なくなると、**電池交換お知らせ表示**が点灯します。このような場合は、速やかに電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池に4個同時に交換して下さい。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。

リセット操作について

電池フタを開けて単3形乾電池4個を**電池ホルダ**から外して下さい。電池を**電池ホルダ**から外した直後は、静電気や内部に残っている電流により誤動作(誤表示)する場合があるため、液晶表示に何も表示されていないことを確認してから再度電池を入れて下さい。

故障かな?と思ったときには…

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

表示が薄くなる、または消えてしまう

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池4個を入れて下さい。

警報ランプが暗い、または点かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池4個を入れて下さい。
電池容量が少ない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

警報ブザーが小さい、または鳴らない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、同じ種類の新しい電池4個を入れて下さい。
電池容量が少ない	
警報ブザーの設定が「OFF」になっている	警報ブザーON/OFF切替ボタンを押して、設定を「ON」にして下さい。

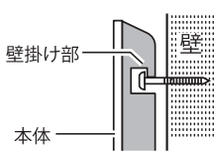
時計の掛け方について

⚠ 注意　掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

●掛け具に本製品を掛けた際に、製品本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●本製品は垂直・水平に掛けて下さい。●ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。●落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。●壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると、掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。●壁の材質・構造を確認の上、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。

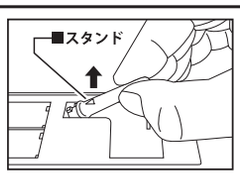


<掛け具の設置/配置の目安>

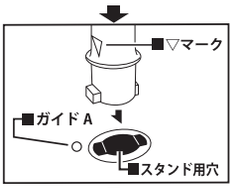


＜正しい掛け方＞

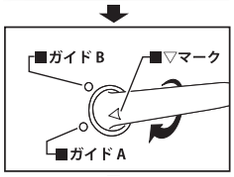
スタンドの使い方について



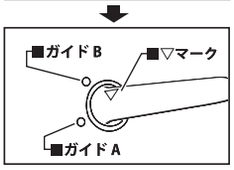
①**電池フタ**を開けて下さい。
スタンドが入っていますので取り出して下さい。



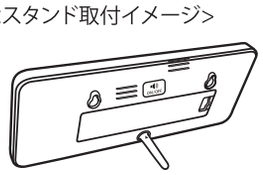
②**スタンド**の▽**マーク**を本体の**ガイドA**に合わせて本体裏面の**スタンド用穴**に差し込みます。



③**スタンド**の▽**マーク**が**ガイドB**に合うように右方向に回転させて固定して下さい。



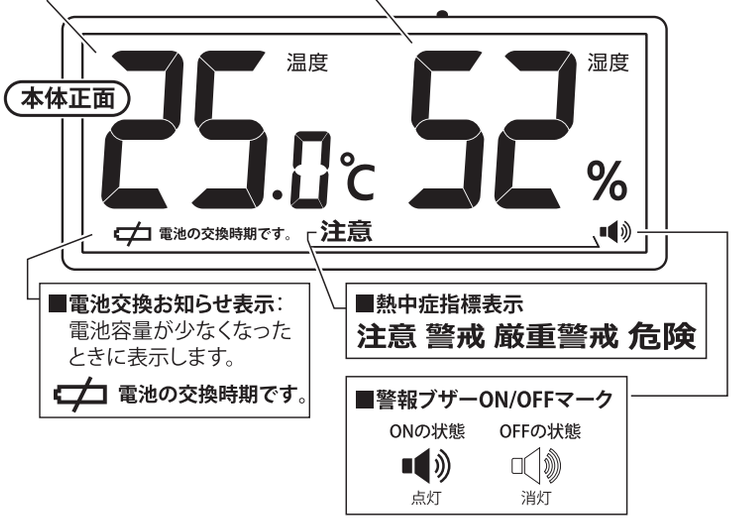
<スタンド取付イメージ>



各部の名称

TH114-z-2608-2

■**温度表示**：本体内蔵のセンサーにより温度を表示します。
■**湿度表示**：本体内蔵のセンサーにより湿度を表表示します。

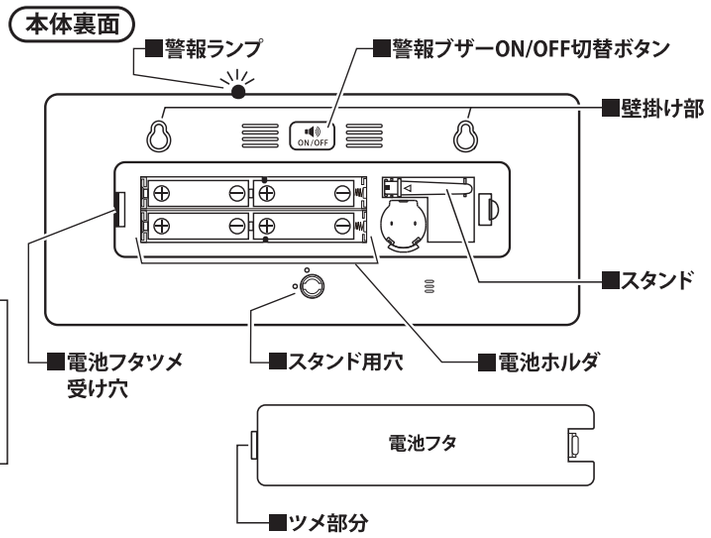


■**電池交換お知らせ表示**：
電池容量が少なくなったときに表示します。
電池の交換時期です。

■**熱中症指標表示**
注意 警戒 厳重警戒 危険

■**警報ブザーON/OFFマーク**

ONの状態	OFFの状態
点灯	消灯



ご使用方法

①表示ラベルを剥がして下さい。
※**表示ラベル**を剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

< 表示ラベル >



②電池を入れて下さい。
電池フタを開けて単３形乾電池４個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、**ツメ部分**を**電池フタツメ受け穴**に差し込んで**電池フタ**閉じて下さい。
→「ピッ」と鳴った後液晶が表示され、温度/湿度を表示します。

電池フタの開け方



③警報ブザーのON/OFFを設定して下さい。
警報ブザーON/OFF切替ボタンを押して設定して下さい。
※電池を入れた直後の初期状態では、「OFF」に設定されています。

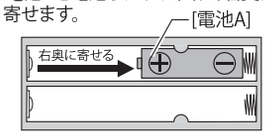
●**ON**に設定 ：熱中症指標表示が「危険」「厳重警戒」「警戒」のいずれかの場合、**警報ブザーが鳴ります**。
●**OFF**に設定：熱中症指標表示が「危険」「厳重警戒」「警戒」のいずれかの場合でも、**警報ブザーは鳴りません**。
※熱中症指標表示は点滅します。

④使用する場所に設置して下さい。

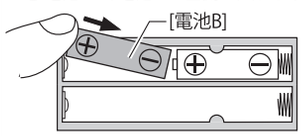
電池の入れ方について

電池を入れる際は、下記の手順に沿って、単３形乾電池4個(A～D)を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。
※電池を正しい向きで入れないと、液晶が表示されません。

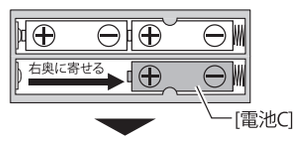
①**電池A**を電池ホルダに入れ、右奥に寄せます。



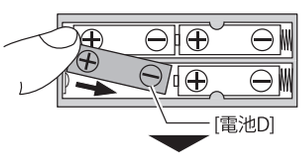
②**電池B**を、**電池A**の左側に入れます。

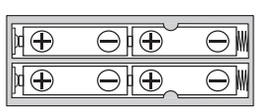


③**電池C**を電池ホルダに入れ、右奥に寄せます。



④**電池D**を、**電池C**の左側に入れます。





⚠注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や故障の原因になります。

熱中症指標表示と警報アラームについて

日本生気象学会の熱中症指針に基づき、温度と湿度の計測値から暑さ指数（WBGT）を算出し、**熱中症指標**を４段階で表示します。**熱中症指標表示**に合わせて**警報ブザー**と**警報ランプ**でお知らせします。同じWBGT環境にいる場合は、約10分後に再度お知らせいたします。
※警報ブザーをOFFに設定している場合は、**警報ブザー**は鳴りません。
※本製品の**熱中症指標表示**は、温度・湿度から算出した環境上の目安（指針）です。熱中症の発症は、個人差（体調・年齢等）や行動状態にも大きく左右されます。表示に関わらず、こまめな水分補給や適切な冷房使用を心がけて下さい。

暑さ指数（WBGT）	お知らせ内容 ※同じWBGT環境にいる場合は、10分毎にお知らせ			注意すべき生活活動の目安	注意事項
	熱中症指標表示	警報ブザー	警報ランプ		
31℃以上	**「危険」** 点滅した後点灯	「ピーーッ」 x５回	点滅	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28℃以上 31℃未満	**「厳重警戒」** 点滅した後点灯	「ピピッ、ピピッ」 10秒	点滅		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
25℃以上 28℃未満	**「警戒」** 点滅した後点灯	「ピピッ、ピピッ、ピピッ」 x３回	点滅	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
25℃未満	**「注意」** 点滅した後点灯	なし	なし	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。